

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
	みなべ町立高城中学校	瀬戸敬二
学校所在地		
〒 645 - 0205 Tel 0739(75)2224	和歌山県日高郡みなべ町滝81 fax 0739(75)2530	
担当者名		役職名・担当教科
田中健大朗		講師・保健体育
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、和歌山県のほぼ中央部に位置し、田辺市・印南町と隣接しており、校区である清川地区と高城地区は、「南高」とよばれる良質の梅を生産する地域である。また、「紀州備長炭」とよばれる白炭の生産・販売に力を入れるなど、若者の都市部への流失に一定の歯止めをかけてきた地域である。しかしながら、近年の急速な少子化傾向は両地区にも及び、平成26年4月をもって旧清川・高城両中学校を統合しあらたな高城中学校として出発することとなった。</p> <p>本校の総合的な学習の時間において、世界農業遺産に認定されている梅システムや地域の未来についての学習を行っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1・2年生 22名	職員 5名	世界遺産センター・高野山
実践研究テーマ		
地域の町づくりや地域活性化について		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「地域を知ろう」	
〔キーワード〕 梅の里学習 地域の文化・歴史		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」を学ぶことで郷土の和歌山に対する理解を深める。</li> <li>世界遺産講座や現地学習を通して、その価値を理解し尊重するとともに、主体的にそれらを継承しておこうとする態度を養う。</li> </ul>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 4 時間 （「紀伊山地の霊場と参詣道」について学ぼう 4 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産センター職員から紀伊山地の霊場と参詣道についての講座を受けた。</li> <li>世界遺産マスターや世界遺産センター職員の方々にガイドをしていただきながら現地学習を行った。</li> </ul>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習（本校）	熊野古道のルートや高野山、金剛峯寺、弘法大師御廟について事前学習を行った。	ワークシート
2	世界遺産講座 世界遺産センター	世界遺産センター職員から紀伊山地の霊場と参詣道、世界遺産について講座を受けた。	観察・ワークシート
3	現地学習 （ ①壇上伽藍から金剛峯寺まで ②中の橋から弘法大師御廟まで ）	世界遺産マスターや世界遺産センターの職員の方々にガイドをしていただきながら現地学習を行った。	観察
4	振り返り（本校）	現地学習の後日に、感想文を書かせ、振り返りを行った。また、「梅の里学習」に活かせることを各自に考えさせた。	感想文
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>総合的な学習の時間で世界農業遺産に認定されているみなべ・田辺の梅システムや地域の未来の活性化への学習を行っている。みなべ町の歴史についても熊野古道との関わりもあり、世界遺産について学ぶことにより自分たちのふるさとであるみなべ町に深く目を向けることができた。また、霊場と参詣道という地を訪れ、敬虔な気持ちを体験する機会を持てて良かった。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>地域の町づくりや地域活性化について考えていく上で、今回の学習は大変有意義であった。「紀伊山地の霊場と参詣道」とは何か、和歌山県がこの世界遺産を守っていくために、保護だけではなく、保全することが大切だと学んだ。全てを次世代につなげるためには、守っていきたいという気持ちを持つことが必要だと感じる事ができた。みなべ町の活性化への学習にも大いに役立つと考える。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>本校の総合的な学習の時間において、地域の未来についての提案を3年生で行うが、今回の学習だけではなく、熊野三山や高野参詣道についての学習も組み入れることでより深く郷土「和歌山」について理解を深められると考える。「和歌山」を深く知ること、自分たちのふるさとであるみなべ町への理解もさらに深まるのではないかと考える。ふるさとに誇りを持ち、日頃の学校生活全体で支援していきたいと考える。次年度もこの事業に参加させていただくことができれば和歌山を愛し、ふるさとを守る生徒を育成していけるのではないかと考える。</p>			

生徒感想文

感想～校外学習を終えて～

高野山のことをたくさん知ることが出来ました。特に私がおどろいたことは、いくつかあり1つ目は、中門にある四天王です。北は「多聞天像」、南は「增長天像」、東は「持国天像」、西は「廣目天像」で、1像1像顔つきが違ふことです。そして、廣目天には胸元にブローチのようにセミがおりまわっています。これは、セミの鳥が飛んできて響き、悪を退けるがから、セミをつけていて、增長天像には、オニセンマがついていて、これは「悪いことを通さない、善い行かない」という意味をつけているのを初めて知りました。それから、2つ目は、音のことがあり、これは下から「地」、「水」、「火」、「風」、「空」で宇宙を表しているのも初めて知りました。3つ目は、お墓の前には、ツリいがある。まよけの意味があるし、これは、高野山 古式なのが分かりました。高野山には、前は何回も来たことがあり、夜もナイトツアーも行きたことがあるけれど、ガイドさんといっしょに行くと、1つ1つ聞いておもしろい。おもしろくて、よ※ 10月20日(水)朝学活 〆切

感想～校外学習を終えて～

今日は、校外学習に行き、初めて知ったことがありました。まず世界遺産は文化遺産、自然遺産、複合遺産があり、複合遺産は一番少ないです。ヨーロッパには世界遺産が多くあり文化遺産が多いです。それは、石造りのものが多くあり、それがわかりました。そして、世界には世界遺産よりお金を集めた国が招くということを知りました。大事に世界遺産のためにお金を集めるのは、だめだと思いましたが、現地学習は、御社、西ノ塔、大ノ塔の鐘などを見ました。御社は白犬と黒犬がいました。西ノ塔は真字の建物だとわかりました。増上伽藍は火災を防ぐために年々にはなると言っていました。そして、徳川家康、織田信長が祭られているところもありました。今日は高野山に行き、世界遺産はどんなものか目の前で見て、おもしろいことでも見た。この世界遺産をいかに守りたいと思いました。

※ 10月20日(水)朝学活 〆切

現地学習を終えての感想

今日は、世界遺産講座をうけて、世界遺産の種類が「紀伊山地の霊場と参詣道」について知ることができました。日本には世界遺産が25もあることがわかりました。私は、世界遺産といえば、富士山や屋久島、熊野古道くらいしか思いつかなかったのですが、まだまだいっぱいあるのだと知ることができました。世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産の3つがあり、「紀伊山地の霊場と参詣道」や高野山は文化遺産にふくまれていることがわかりました。特に、複合遺産は、数が少なく、日本にはないことを知りました。マコトチチなことは、私は知っていたので、新鮮に見てみたいと思いました。また、世界遺産からのそのほかのものもあるのだとわかりました。世界遺産は、登録されたから「保全」「保護」をしていくことが一番大切だということがわかりました。現在も、熊野古道の道を修復している。知って、世界遺産を守るために、色々な人が活動しているのだと思いました。世界遺産条約には、194か国が参加しており、日本も保護するためのお金を15.6%くらい出しているのだと、おもしろいと思いました。現地学習では、そのほかの建物やお墓について、くまなく見たり、触ったりできて、良い体験をすることができて良かったです。三鈷の松では、三つの松になっているのがおもしろいものを見たり、六時の鐘の音をきけるなどの貴重な経験ができました。中の橋～弘法大師御廟までの散策では、姿見の井戸や転石と三年以内に死んでしまう坂地があって、少し怖いなと思いました。お地蔵さんについているおもしろいのは、「清く、正しく、正直に」という意味があるお地蔵さんでした。また、高野山のお墓には、鳥居がついていて、魔よけの意味がありました。今回の学習は、難しい内容だったけど、世界遺産を近くで見ることができて、くわい

説明をきくことができて、良かったです。ありがとうございました。

10月20日(水)提出 〆切

現地学習を終えての感想

現地学習を終えて、国宝のものが和歌山にあるという点にもすごく驚いたし、なにより、実際に近くで見ることができたので、それぞれに歴史があるんだな、と感じることができました。私はずいぶん写真を撮り続けていたので、Xもほとんどできていませんが、やはり、本物というのには迫りがあります。印象に残っているものは、空、風、火、水、地という空海が作ったもの。これは、宇宙をあらわしているらしく、しかも歩いていると、ほとんどの墓所であれが用いられていたため、それだけすごいものであると感じることができました。あと、国宝には、徹底的に火事対策をとられてたというのすごく印象的です。建物の周りに、いつでも放水できるように水道管が埋められている。昔は屋根の上にある大きなバケツに水をためてそのバケツにつながっているものを引、張って火花から建物を守っていたらしいです。このように、昔から受け継がれている貴重な物は、人々の手によって守られ続けられているんだなと分かりました。織田信長や、松尾芭蕉など、歴史に出てくる人の墓所もあるのだから、少し親近感が湧きました。



